

表1 助産師国家試験出題基準別にみた出題テーマ(第107回助産師国家試験問題)

大項目	中項目	午前問題			午後問題			
		番号	出題テーマ	タキノミー	番号	出題テーマ	タキノミー	
【基礎助産学Ⅰ】								
目標Ⅰ. 助産の基本となる概念と変遷、基本姿勢について基本的な理解を問う。								
1. 助産の基本	A. 助産・助産師の定義	保健師助産師看護師法						
		世界保健機関<WHO>						
		国際助産師連盟<ICM>						
	B. 助産師の役割と責務	保健師助産師看護師法に基づく義務						
		医療法に基づく業務						
		コア・コンピテンシー、助産師の声明 守秘義務 助産師の業務範囲と臨時応急の手当て						
	C. 助産における倫理	性と生殖に関する生命倫理						
		助産師の倫理綱領						
		対象の権利の尊重						
	D. 助産における基本的な概念	女性を中心としたケア<Women-centered care>						
家族を中心としたケア<Family-centered care>		31	ケアの基本概念	I				
リプロダクティブ・ヘルス/ライツ エビデンスに基づいた助産活動								
E. 助産・助産師の変遷	日本における助産・助産師の変遷	1	産婆規則の規定	I				
	助産師教育 母子健康手帳							
目標Ⅱ. 女性の健康に関する支援のための基本的な理解を問う。								
2. 女性のライフサイクルと健康課題	A. 思春期・成熟期女性に特有な健康課題	性器の奇形・異常	2	正常な卵巣機能をもつ性分化疾患	I			
		やせ、肥満						
		初経(早発月経、遅発月経)						
		月経周期の異常(月経不順、稀発月経、無月経)						
		体重減少性無月経						
		月経困難症						
		月経前症候群<PMS>・月経前不快気分障害<PMDD>						
	B. 更年期・老年期女性に特有な健康課題	過多月経、過少月経						
		多嚢胞性卵巣症候群<PCOS>						
		プレコンセプションケア						
D. 就業女性に特有な健康課題	閉経、更年期障害	34	ホルモン補充療法の投与対象	I				
	脂質異常症、糖尿病 萎縮性膀胱 排尿障害、尿失禁、過活動膀胱							
	骨盤臓器脱	8	ペッサリー副作用の出血改善に有効な膣錠剤	II				
E. 女性への暴力と健康課題	抑うつ							
	ワーク・ライフ・バランス							
3. 女性の健康に影響を及ぼす因子	A. 遺伝	ライフプランを考慮した健康						
		ワーク・ライフ・バランス						
		ドメスティック・バイオレンス<DV>						
	B. 食事と栄養	性暴力 セクシュアル・ハラスメント						
		栄養所要量				2	妊娠前の女性への栄養指導と食生活	I
		栄養状態の評価法						
	C. 物理・化学的環境	エネルギー不足 有害物質の摂取						
		放射線、電磁波						
		大気汚染 環境汚染物質						
	D. 嗜好、薬物	喫煙						
飲酒、アルコール依存 薬物(薬物乱用、薬物依存)								
E. 運動	運動不足							
	過活動							
4. 性と生殖に関する解剖と生理	A. 内性器、外性器	内性器・外性器の構造と機能			30	子宮の構造	I	
		神経の構造						
		血管の構造						
	B. 骨盤、骨盤内臓器	骨盤の構造						
		骨盤内臓器と支持組織						
		骨盤内臓器の神経・血管支配						
C. 生殖の生理機能、性周期	制御するホルモン							
	生殖器の変化							
	心身に与える影響 卵巣機能と妊孕性							
5. 性の機能と行動	A. 性の分化と発達	性分化の仕組み ジェンダー・アイデンティティの発達 セクシュアリティの発達						
		性反応 性機能と障害						
	C. 性の多様性	性的指向・性自認の多様性						
A. 女性生殖器の疾患	子宮腫瘍(がん、肉腫、子宮筋腫、子宮腺筋症、ポリープ)	子宮腫瘍(がん、肉腫、子宮筋腫、子宮腺筋症、ポリープ)	41	子宮体癌のリスク因子	II			
		卵巣腫瘍、良性卵巣疾患	43	子宮全摘術・両側付属器切除術後の後遺症	I			

大項目	中項目		午前問題			午後問題		
			番号	出題テーマ	タキソノミー	番号	出題テーマ	タキソノミー
6.女性生殖器と乳房の疾患	B.乳房疾患	子宮内膜症						
		乳癌 良性乳腺疾患				3	日本人の乳癌のリスク要因	I
	C.検査法	基本的な診察(視診、触診、腔鏡診、内診) 子宮頸部細胞診(パップスメアテスト) 腔分泌物等を用いた検査(鏡検、培養)						
		超音波断層法	42	検査前の注意事項	I'			
		MRI						
		マンモグラフィ						
						9	子宮頸がん診断の精密検査法	II
				29	鏡検で診断可能な病原体	I		

目標Ⅲ. リプロダクティブ・ヘルスに関する支援のための基本的な理解を問う。

7.家族計画と受胎調節法	A.家族計画に関する基礎的知識	目的と必要性 生活状況に応じた方法の選択 産後の回復過程に応じた方法の選択 パートナーを含めた教育 母体保護法 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律<医薬品医療機器等法、旧薬事法>						
		基礎体温法	4	黄体機能の推定	I'			
	※各小項目の共通の中項目 B.各受胎調節法の特徴や効果 C.指導における留意点	コンドーム 経口避妊薬、緊急避妊薬 子宮内避妊具<IUD> 子宮内黄体ホルモン放出システム < IUS :Intrauterine Contraceptive System > 不妊手術 ベッサリー	3	低用量経口避妊薬の内服方法	I			
8.婦人科の炎症性疾患	※各小項目の共通の中項目 A.病態 B.診断 C.治療 D.予防	尿道炎、膀胱炎、腎盂腎炎 子宮頸管炎、子宮内膜炎・筋層炎 外陰炎 膣炎 骨盤腹膜炎	32	骨盤内感染症のリスク因子	I			
	※各小項目の共通の中項目 A.病態 B.診断 C.治療 D.予防	性器ヘルペス 尖圭コンジローマ ヒト免疫不全ウイルス<HIV>、後天性免疫不全症候群<AIDS> クラミジア感染症 淋菌感染症 梅毒 ヒトパピローマウイルス<HPV>感染症 カンジダ症 トリコモナス膣炎 疥癬				4	男性感染者の症状	I
10.不妊症、不育症	A.女性側の要因の病態・診断・治療	排卵障害 卵管の障害 子宮の障害 性交障害 卵子のエイジング 抗リン脂質抗体症候群 染色体異常						
		B.男性側の要因の病態・診断・治療	精子形成障害 精管通過障害 性交障害					
	C.不妊症・不育症の女性への支援	社会的支援 精神的支援 不妊治療 生殖補助医療と合併症(多胎妊娠、卵巣過剰刺激症候群) 卵巣・配偶子の凍結保存 第三者の関わる治療(配偶子・胚の提供、代理懐胎) 養子縁組						
11.出生前診断	A.出生前診断に関する基礎	出生前診断の概念・目的 出生前診断における倫理						
	B.出生前検査の方法	羊水検査 絨毛検査 母体血清マーカー検査 母体胎児染色体検査 <NIPT: non-invasive prenatal test > 超音波検査 着床前遺伝学的検査				5	NIPTの対象疾患	I

【基礎助産学Ⅱ】

目標Ⅰ. 妊娠による女性の変化や正常な妊娠・分娩・産褥の経過及び正常な新生児の経過や乳幼児の成長・発達における特徴について基本的な理解を問う。

1.妊娠	A.妊娠の成立	卵胞発育と排卵 子宮内膜(増殖期・分泌期)と機能 造精機能と射精 精子・卵子形成 受精 着床の機序						
		B.妊娠の維持機構	妊娠の維持とホルモン 免疫機能	5	妊娠初期のホルモン機序	I		
A.生殖器の変化	A.生殖器の変化	子宮 子宮付属器 膣、外陰部						

大項目	中項目		午前問題			午後問題		
			番号	出題テーマ	タキソノミー	番号	出題テーマ	タキソノミー
2.妊娠による母体の変化	B.全身の変化	乳房						
		神経系						
		感覚器系						
		循環器系	33	妊娠による母体の生理的変化	I			
		呼吸器系	23	機能的残気量が低下する要因	I			
		消化器系						
		内分泌系、代謝系						
		泌尿器系						
		運動器系						
		C.免疫能の特性	胎児の免疫学的機能 母体-胎児間の免疫 妊娠中の栄養所要量					
3.妊娠中の栄養	A.母体の健康、胎児の発育	ビタミン・鉄・葉酸・カルシウムの過不足						
		低栄養						
		栄養過剰摂取						
		非妊時の体格(やせ、肥満)						
		喫煙						
	B.妊娠合併症と母体の栄養	飲酒						
		嗜好品						
		成人病胎児期発症説<DOHaD>						
		妊娠糖尿病、糖尿病合併妊娠						
		妊娠高血圧症候群						
4.胎児	A.胎児の発育	授精卵<胚>、胎芽、胎児						
		胎児の形態と発育						
	B.臓器の成熟と器官形成期	神経・運動器系						
		感覚器系						
		循環器系						
		血液・造血器系	24	胎児型ヘモグロビン<HbF>の特徴	I			
		免疫系						
		呼吸器系						
		消化器系						
		内分泌系、代謝系						
5.胎児付属物	A.卵膜の構造と機能	羊膜、絨毛膜、胎盤						
		母体由来、胎児由来						
	B.羊水の生成と機能	羊水の生成過程・成分						
		羊水の機能						
	D.胎盤の構造と機能	胎盤の形成と構造				6	絨毛間腔の構造	I
胎盤の発育								
6.分娩の基礎	A.分娩に関する主な概念・定義	分婯開始、陣痛周期						
		分婯第1期から第4期の定義						
		妊娠期間による分婯の法的・産科学的定義						
		分婯様式、分婯体位						
		分婯誘発、分婯促進						
	B.分娩の三要素	無痛分婯						
		胎児と胎児付属物						
		産道						
		娩出力						
7.新生児の特徴	A.身体的特徴	身体的発育						
		成熟徴候						
	B.生理的特徴	神経・運動器系						
		感覚器系						
		循環器系						
		血液・造血器系						
		免疫系						
		呼吸器系						
		消化器系						
	C.行動上の特徴	内分泌系、代謝系						
泌尿器系								
体温調節								
8.乳幼児の特徴	A.身体的特徴	睡眠と覚醒						
		哺乳						
	B.生理的特徴	母子の相互作用						
		身体的発育						
		神経・運動器系						
		感覚器系						
		循環器系						
		免疫系						
		呼吸器系						
	C.心理・社会的特徴と行動上の特徴	消化器系						
内分泌系、代謝系								
泌尿器系		7	乳児期の発達	I				
	精神発達							
	生活習慣・行動				7	生後6か月の微細運動	I	
	食事と栄養				8	生後6か月の離乳食内容	I	
		予防接種						

大項目	中項目	午前問題			午後問題		
		番号	出題テーマ	タキソノミー	番号	出題テーマ	タキソノミー
9.妊娠・分娩・産褥と薬物	A.薬物の作用と母子への影響	頸管熟化薬、子宮収縮薬					
		子宮収縮抑制薬			32	リトドリン塩酸塩使用時の母体の副作用	I
		麻酔薬					
		薬物の催奇形性	26	妊娠初期に催奇形性のある薬剤	I		
	B.授乳期の薬物摂取と母子への影響	薬物の胎盤通過性					
		薬物の母乳移行					
		乳汁分泌に影響する薬物					

【助産診断・技術学Ⅰ】

目標Ⅰ. 女性や家族の健康課題の解決、健康の保持・増進に必要な相談・教育について基本的な理解を問う。

1.相談・教育活動の基本	A.相談・教育の基礎	対象理解					
		成人教育における留意点					
		問題解決プロセス					
		女性を中心としたケア<Woman-centered care>					
		セルフケア					
		エンパワメント					
	B.相談・教育活動の過程	意思決定支援					
		ヘルスビリーフモデル、プリシード・プロシードモデル					
		計画立案					
	C.相談・教育活動の技術	実施評価					
		教材・媒体の工夫					
	D.相談・教育の方法	コミュニケーション					
		カウンセリング					
個別相談							
集団教育							
家庭訪問							
電話相談							
仲間づくり							
ピアサポート							
討議法、グループワーク							
双方向教育							
多職種との連携							
情報通信技術(ICT)を用いた相談・教育方法							

目標Ⅱ. 女性のライフサイクル各期における相談・教育活動の実践について基本的な理解を問う。

2.女性のライフサイクル各期における相談・教育活動の実践	A.思春期女性への相談・教育	月経に関する教育・相談(月経異常、月経随伴症状)						
		性教育(いのちの教育、生命誕生)						
	B.成人期女性への相談・教育	ライフプランを考慮した健康						
		家族計画、性生活						
		子宮頸がん検診、乳がん検診						
		性感染症<STI>						
		不妊症、不育症						
	C.周産期にある女性や家族への相談・教育	人工妊娠中絶						
		高年初産婦						
		出産準備教育(母親学級、両親学級)				39	パートナーへの育児技術支援	Ⅱ
						40	ファシリテーターの役割	Ⅲ
						41	ピア・エデュケーションの講師選定	Ⅱ
		祖父母向け教育(孫育て教室)				22	セルフヘルプグループの活動要件	I
D.更年期・老年期女性への相談・教育	周産期・育児期にある女性や家族への相談・教育							
	家庭訪問(妊婦訪問、新生児訪問)							
	産後の生活、家族計画							
	産後ケア(訪問、デイケア、宿泊ケア)							
	更年期障害、更年期症状							
	骨粗鬆症							
	骨盤臓器脱、尿失禁							

【助産診断・技術学Ⅱ】

目標Ⅰ. 助産に必要な助産診断・技術について基本的な理解を問う。

1.助産診断	A.助産診断・助産ケアの過程	情報収集						
		助産診断						
計画立案								
実施								
評価								
B.助産診断に関わる諸理論	記録							
	適応理論							
	発達理論							
	家族理論							
2.助産技術	A.妊娠経過の診断および妊婦健康診査に必要な技術	親子理論						
		愛着理論						
		医療面接(問診)、情報収集、インフォームド・コンセント						
		視診						
		触診(乳房、腹部、Leopold<レオポルド>触診法)						
	B.分娩経過の診断・ケアに必要な技術	計測診(身体計測、骨盤外計測、腹囲、子宮底長)						
		内診、双合診、陰鏡診						
		間欠的胎児心拍数聴取						
		超音波検査				10	BPD計測法	I
		ノンストレステスト<NST>						
B.分娩経過の診断・ケアに必要な技術	医療面接(問診)、情報収集、インフォームド・コンセント							
	視診							
	聴診(Doppler<ドブラ>法)							
	触診(Seitz<ザイツ>法、頭部法)	9	Seitz<ザイツ>法によるOPD診断	I				
	内診							
	間欠的胎児心拍数聴取							

大項目	中項目	午前問題			午後問題			
		番号	出題テーマ	タキソノミー	番号	出題テーマ	タキソノミー	
		分娩監視装置による連続モニタリング						
目標Ⅱ. 妊娠期の助産診断及び支援について基本的な理解を問う。								
3. 妊娠期の助産診断	A. 妊娠の診断	医療面接(問診)、情報収集						
		性器に現れる妊娠徴候						
		性器外に現れる妊娠徴候						
		内診						
		免疫学的妊娠反応検査						
	B. 妊娠経過の診断	超音波検査						
		分娩予定日の決定						
		身体所見						
		体格指数<BMI>、体重増加量				46	母子健康手帳からの妊娠経過の判断	Ⅱ
		内診						
	C. 胎児の発育・健康状態の診断	血液検査						
		尿検査				47	尿蛋白異常時の必須検査	Ⅱ
		マイナートラブル						
		既往歴、家族歴						
		妊娠・分娩歴、産科病歴、合併症						
	D. 日常生活行動の診断	胎児推定体重						
		子宮底長、腹囲						
		胎位、胎向、胎勢						
		胎児心拍数の評価(間欠的胎児心拍数聴取、連続的胎児心拍数モニタリング)						
		胎盤付着部位						
	E. 妊婦と家族の心理・社会的側面の診断	胎児胎盤機能検査						
		羊水量の変化と羊水量の測定						
		母体栄養と胎児の発育						
		食事と栄養						
		睡眠、休息						
	A. 妊娠期の生活に適應するための支援	活動、運動、生活リズム						
		排泄						
清潔行動		11	口腔衛生行動と低出生体重児	I				
性生活								
年齢								
B. 就労女性への支援	経済状態							
	婚姻形態(パートナーとの関係)							
	家族関係(家族の意識と役割)							
	文化的背景(母性意識、母親役割、ソーシャルサポート)							
	妊娠の受容							
C. 心理・社会的支援	親と児の愛着形成の促進、親役割の獲得							
	情緒の変化							
	不安や問題への対処行動							
	ボディイメージの変化							
	日常生活行動の変化							
A. 妊娠期の生活に適應するための支援	過去の出産体験							
	精神疾患の合併							
	メンタルヘルス、スクリーニング							
	食事と栄養							
	排泄							
B. 就労女性への支援	活動と運動							
	休息と睡眠							
	清潔と衣生活							
	定期健康診査受診の推奨				45	妊婦健康診査の受診間隔	Ⅱ	
	マイナートラブルへの対処							
C. 心理・社会的支援	嗜好品							
	性生活							
	母性健康管理指導事項連絡カード							
	就業規則、労働時間							
	産前産後休業、育児休業、育児時間							
A. 妊娠の診断	勤労妊婦の支援に関わる関連法規							
	妊婦の妊娠の受容							
	出産に対する不安							
	出産・育児準備							
	家族関係の形成							
B. 就労女性への支援	胎児に対する愛着形成							
	妊婦に対する家族の理解							
	社会資源の活用							
	妊娠悪阻							
	切迫流産、切迫早産							
C. 心理・社会的支援	異所性妊娠							
	妊娠貧血							
	妊娠糖尿病、糖尿病合併妊娠、妊娠中の明らかな糖尿病< overt diabetes in pregnancy >				15	GDM妊婦への食事指導	Ⅲ	
	甲状腺機能異常				31	血糖コントロール不良に伴う妊娠後期のリスク	I	
	子宮頸管無力症							
D. 助産ケア(健康教育、胎児管理、薬物療法)	妊娠高血圧症候群、妊娠高血圧腎症							
	羊水量の異常							
	絨毛膜羊膜炎							
	胎児発育不全< FGR >	35	母体側のリスク因子	I				
目標Ⅲ. 正常な妊娠経過からの逸脱及びハイリスク状態にある妊婦への支援について基本的な理解を問う。								
5. 正常な妊娠経過からの逸脱・産科合併症のある妊婦への支援	※各賞項目の共通の中項目							
	A. 病態							
	B. 診断と治療							
	C. 助産診断							
	D. 助産ケア							

大項目	中項目	午前問題			午後問題			
		番号	出題テーマ	タキソノミー	番号	出題テーマ	タキソノミー	
6.母子感染のリスクのある妊婦への支援	※各小項目の共通の中項目 A. 病態 B. 診断と治療 C. 助産診断 D. 助産ケア(早期発見、予防を含む) E. ワクチン接種の情報提供	骨盤位						
		前期破水						
		常位胎盤早期剥離						
		子宮内胎児死亡	16	診断時の妊婦への対応	III			
		過期妊娠	44	分娩への対応	III			
		多胎妊娠						
		血液型不適合妊娠						
		胎盤の位置異常(前置胎盤)	10	前置胎盤確定の検査	I			
7.ハイリスク状態にある妊婦と家族への支援	※各小項目の共通の中項目 A. 病態 B. 診断と治療 C. 助産診断 D. 助産ケア(早期発見、予防を含む) E. ワクチン接種の情報提供	サイトメガロウイルス						
		ヒトパルボウイルスB19						
		B型肝炎ウイルス						
		C型肝炎ウイルス						
		ヒト免疫不全ウイルス<HIV>						
		成人T細胞白血病ウイルス-1型<HTLV-1>						
		単純ヘルペスウイルス						
		水痘ウイルス						
		クラミジア						
		トキソプラズマ				55	IgG抗体陰性の妊婦への保健指導	III
		梅毒トレポネーマ						
		B群溶連菌						
カンジダ								
ヒトパピローマウイルス<HPV>								
風疹ウイルス				34	風疹抗体価高値の妊婦への検査	III		
インフルエンザウイルス								
F 新興感染症、再興感染症	新興感染症・再興感染症の病態・診断・治療							
8.分娩期の助産診断	A. 分娩開始の予知の診断 B. 分娩開始の診断 C. 破水の診断 D. 分娩経過の診断 E. 胎児の健康状態の診断 F. 産婦の日常生活行動の診断 G. 産婦と家族の心理・社会的側面の診断	若年妊娠						
		高年妊娠	12	高年初産の勤労妊婦への対応	III			
		未受診妊婦						
		予期せぬ妊娠、妊娠の受容が困難な妊婦						
		胎児との愛着形成困難						
		被虐待経験者						
		流産・胎内死亡を経験した女性						
		帝王切開既往妊婦				54	TORAC希望の経膈分娩施行の適応	II
		支援体制						
		助産師の役割						
		多職種連携						
		目標IV. 分娩期の助産診断及び正常な経過にある産婦への支援について基本的な理解を問う。	A. 分娩開始の予知の診断 B. 分娩開始の診断 C. 破水の診断 D. 分娩経過の診断 E. 胎児の健康状態の診断 F. 産婦の日常生活行動の診断 G. 産婦と家族の心理・社会的側面の診断	自覚症状				
子宮頸管熟化度								
子宮収縮(前駆陣痛)								
陣痛発来								
子宮頸管の変化、子宮口の開大								
自覚症状								
検査法								
陰鏡診、内診								
羊水の性状								
陣痛、腹圧								
骨盤の大きさと形態								
子宮頸管								
膣・会陰の伸展性								
胎児の大きさ								
胎位、胎向、胎勢、回旋								
胎児の下降度								
胎児と骨盤の関係						43	児頭最大周囲径と骨盤の位置	II
バルトグラムによる評価(Friedman<フリードマン>曲線)						36	分娩第I期活動期の経過診断	II
児娩出時刻								
分娩所要時間(第1期、第2期、第3期)								
胎盤剥離徴候	48			胎盤剥離徴候の確認後の対応	III			
児娩出後の出血								
胎盤・卵膜の娩出								
軟産道の裂傷								
出血量								
胎児推定体重の算出								
胎児の発育評価								
胎児心拍数陣痛図								
羊水の量・性状								
胎盤・胎児の循環動態の評価								
biophysical profile score<BPS>				12	BPSスコアに基づく管理方針	II		
食事と栄養、排泄								
休息と睡眠、活動								
産婦の情動								
産痛への対処行動								
家族の支援状況								
A. 分娩第1期の助産ケア	基本的欲求の充足							
	出産環境への配慮							
	家族とのコミュニケーション							
	産痛緩和							
	リラクゼーション、呼吸法							
分娩進行の促進								

大項目	中項目		午前問題			午後問題		
			番号	出題テーマ	タキソノミー	番号	出題テーマ	タキソノミー
9. 正常な経過にある産婦への支援	B. 分娩第2期・分娩第3期の助産ケア	家族への支援						
		基本的欲求の充足 リラクゼーション、呼吸法 必要時の努責の誘導 出血量に応じた体位の調整						
	C. 分娩後2時間までの助産ケア	出血・子宮復古状態の観察	49	子宮復古促進の対応	III			
		基本的欲求の充足 早期母子接触と実施時の留意点 母子と家族との対面						
10. 分娩の介助	A. 分娩介助の原理と基本	分娩時の姿勢による分娩介助						
		分娩体位による特徴						
		分娩機転						
		呼吸法、リラクゼーション 努責の誘導 産婦の主体性を尊重したケア						
	B. 分娩介助時の技術	肛門圧迫・保護						
		会陰保護						
		児頭娩出						
		肩甲娩出						
		軀幹娩出						
		C. 胎盤・胎児付属物の検査	胎盤娩出					
		臍帯切断、臍処置	13	正常産児の臍帯切断箇所	I'			
		観察項目と実施方法						
目標V. 正常な分娩経過からの逸脱及びハイリスク状態にある産婦への支援についての基本的な理解を問う。								
11. 正常な分娩経過からの逸脱、異常分娩時の産婦への支援	※ 各賞項目の共通の中項目 A. 病態、診断と治療 B. 助産ケア(早期発見、予防を含む)	娩出力の異常(分娩誘発・促進時の管理)						
		産道の異常						
		胎位・胎勢の異常				42	内診による前方前頭位の診断	II
		進入・回旋の異常				38	内診による第2回旋異常時の診断	II
		前期破水	47	分娩第I期のケア	III			
		遷延分娩	55	分娩第II期遷延時の対応	III			
		肩甲難産						
		弛緩出血						
		子宮破裂						
		子宮内反症、頸管・腔・会陰裂傷				11	子宮内反の診断	II
子癇								
羊水塞栓								
播種性血管内凝固症候群<DIC>、産科DIC	45	凝固能低下のアセスメント	II					
12. 胎児及び胎児付属物異常がある産婦への支援	※ 各小項目の共通の中項目 A. 病態、診断と治療 B. 助産ケア(早期発見、予防を含む)	胎児機能不全	53	遅発一過性徐脈出現時の対応	III			
		胎児付属物の異常						
		多胎						
		形態異常						
13. 産科手術および産科的医療処置が必要な産婦への支援	※ 各小項目の共通の中項目 A. 産科手術と産科的医療処置 B. 助産ケアと支援	会陰切開術						
		会陰縫合術	54	会陰IV度裂傷縫合後の対応	III			
		腹式帝王切開術						
		分娩誘発・促進						
		子宮底圧迫法						
		骨盤位牽出術						
	C. 分娩時の麻酔の管理と助産ケア	吸引遂娩術						
		鉗子遂娩術						
		胎盤圧出法、用手剥離						
		子宮摘出術						
		子宮腔内バルーン留置・タンポナーデ	46	弛緩出血時の処置	II			
		動脈塞栓術による止血 <IVR: Interventional radiology>						
		分娩時の麻酔法(硬膜外麻酔法、脊髄くも膜下麻酔、陰部神経ブロック)						
		適応						
		合併症						
		麻酔管理						
		分娩経過に応じた助産ケア				37	硬膜外麻酔使用中の産婦のケア	III
目標VI. 助産に必要な緊急時・搬送時の対応についての基本的な理解を問う。								
14. 緊急時・搬送時の支援	A. 応急処置	使用物品と薬剤						
		止血法						
		腫および会陰の血腫・産道裂傷の処置						
		母体の蘇生法				33	心肺停止状態の妊婦への対応	III
		出血性ショック時の処置						
	B. 緊急時の対応	非出血性ショック時の処置						
		自動体外式除細動器<AED>						
		異常出血に対する処置(妊娠前半期、妊娠後半期、分娩時、播種性血管内凝固症候群<DIC>、産科DIC、産科危機的出血の診断)	36	産科危機的出血の定義	I			
		妊産婦への説明と同意						
		妊産婦の心理的支援						
C. 搬送時の対応	家族への心理的支援							
	母体搬送の適応と対応							
	新生児搬送の適応と対応							
		多職種・多機関の協働・連携						
目標VII. 産褥期の助産診断及び支援についての基本的な理解を問う。								
A. 産褥経過の		身体所見						
		子宮と付属器						
		腔、外陰、肛門						

大項目	中項目	午前問題			午後問題			
		番号	出題テーマ	タキソノミー	番号	出題テーマ	タキソノミー	
15.産褥期の助産診断	A.産褥経過の診断	血液検査						
		尿検査						
		不快症状						
		妊娠・分娩歴、産科病歴、合併症						
		栄養と食事						
	B.日常生活行動の診断	睡眠、休息						
		活動、運動						
		排泄						
		清潔行動						
		日常生活への適応						
	C.褥婦と家族の心理・社会的側面の診断	性生活						
		年齢						
		経済状態						
		婚姻形態						
		家族関係						
		文化的背景						
		出産体験の受容						
		母性、父性、親性の発達過程						
		親役割の獲得						
		家族機能の変化、家族の役割獲得						
	D.育児能力の診断	居住地域の育児環境						
		マタニティーブルー						
		産後の精神疾患(産後うつ病、産褥精神障害)						
		育児行動の文化的背景						
		褥婦の心理に影響を及ぼす要因						
E.母乳育児に関する診断	児の受容							
	子への愛着形成							
	育児技術の習得							
	育児不安と対処行動							
16.正常経過にある褥婦と家族への支援	A.産褥期の生活への適応および退行性変化促進への支援	乳房の変化						
		乳汁分泌量の変化						
		児の哺乳行動、哺乳サイン、吸着、吸啜						
		授乳技術とセルフケア能力						
		栄養と食生活				13	授乳期の1日の摂取カロリー付加量	II
	B.母乳育児への支援	排泄						
		睡眠、休息、生活リズム						
		活動、運動、産褥体操、日常生活の行動拡大						
		身体の清潔、外陰部の清潔						
		子宮底輪状マッサージ法						
	C.育児行動獲得への支援	性生活						
		母乳育児に関する意識						
		母乳分泌促進法・抑制法				26	授乳期のホルモン変動	I
		哺乳の評価	15	母乳不足感のある褥婦への対応	III			
		乳房のセルフケア						
	D.褥婦と家族への心理・社会的支援	乳房トラブルの予防と対処法						
		母乳育児のための社会資源						
		母乳代用品の安全性						
		母親・パートナー(配偶者)の役割獲得						
		愛着形成促進						
	E.産褥経過からの逸脱及びハイリスク状態にある褥婦への支援について基本的な理解を問う。	育児技術の取得						
		育児環境の調整						
		家族関係の調整						
		産婦・家族の分娩体験の想起						
		出生に関わる届出の支援						
17.不快症状の緩和への支援	職場復帰への支援							
	活用できる社会資源に関する支援							
	後陣痛							
	会陰部疼痛							
	脱肛・痔核							
18.正常な産褥経過からの逸脱・産科的異常のある褥婦への支援	排尿・排便障害							
	産褥早期出血							
	産褥晚期出血							
	子宮復古不全							
	産褥熱							
19.乳房の異常がある褥婦への支援	恥骨結合離開							
	静脈瘤、血栓性静脈炎							
	深部静脈血栓症、肺塞栓症							
	感染症							
	妊娠高血圧症候群後遺症							
20.特別な母乳育児支援を必要とする褥婦への支援	乳頭損傷							
	乳腺炎(乳腺炎重症化予防ケアを含む)				27	うっ滞性乳腺炎のケア	I'	
	医学的適応により人工乳の補足が必要な児							
	乳癌の合併				14	乳癌治療中の授乳指導	I'	
	成人T細胞白血病ウイルス-1型<HTLV-1>キャリア							
21.特別な育児支援を必要とする褥婦への支援	多胎出産				17	多胎児を持つ褥婦の授乳支援	III	
	不妊治療後の出産							
	障害児							

大項目	中項目		午前問題			午後問題		
			番号	出題テーマ	タキソノミー	番号	出題テーマ	タキソノミー
要とする褥婦への支援	A. 対象の理解 B. 助産ケア	予後不良児 在留外国人家庭 ひとり親家庭						
22.メンタルヘルスの危機的状況や心理的リスクのある褥婦への支援	※ 各小項目の共通の中項目 A. 病態、診断、治療 B. 助産ケア(早期発見、予防を含む)	産後うつ病 産後精神障害 帝王切開術後 流産・早産・死産経験						
目標IX. 妊産期から産褥期における合併症がある妊産褥婦への支援について基本的な理解を問う。								
23.合併症がある妊産褥婦への支援	※ 各小項目の共通の中項目 A. 病態、診断、治療 B. 助産ケア(早期発見、予防を含む)	心疾患 腎疾患 甲状腺疾患 糖尿病 子宮・付属器疾患、悪性腫瘍						
目標X. 新生児期の助産診断及び支援について基本的な理解を問う。								
24.出生後24時間以内の新生児の助産診断	※ 各小項目の共通の中項目 A.胎外環境への適応と成長・成熟 B.正常からの逸脱の診断	Apgar<アプガー>スコア 全身の状態 呼吸・循環の確立 バイタルサイン 身体計測値 成熟度の判定 睡眠・覚醒レベル 血糖の調整(糖代謝) 体温の調整 胎内環境・分娩の影響の評価						
25.出生後24時間以降の新生児の助産診断	※ 各小項目の共通の中項目 A.胎外環境への適応と成長・成熟 B.正常からの逸脱の診断	胎外環境への適応状態 分娩侵襲からの回復 哺乳 消化と排泄 生理的体重減少 神経学的所見(原始反射を含む) 臍帯の脱落、臍部の観察	25	Brazelton<ブラゼルトン>の新生児行動分類	I			
26.出生後24時間以内の新生児への支援	A.胎外環境への適応への支援 B.成長・発達への支援 C.予防の支援	新生児蘇生法 胎外環境への適応の促進 保温 母子接触 哺乳 排泄 感染予防 点眼 安全確保 与薬(ビタミンK2シロップ)				16	母児標識の装着	I
27.出生後24時間以降の新生児への支援	A.成長・発達への支援 B.清潔への支援 C.親子の愛着形成への支援 D.疾患スクリーニングへの支援	栄養と授乳 保温と環境温度の調整 保清、沐浴 感染予防 臍処置 母子同室中のケア 母子愛着形成促進のためのケア 新生児マススクリーニング検査 新生児聴覚スクリーニング検査				49	生理的体重減少逸脱児の授乳支援	III
						50	臍湿潤が認められる際の母親への指導	III
目標XI. 新生児の正常からの逸脱及び異常な症状・状態・疾患がある新生児と家族への支援について基本的な理解を問う。								
28.新生児の正常からの逸脱、および異常な症状・状態への支援	※ 各小項目の共通の中項目 A. 病態、診断、治療 B. 助産ケア(早期発見、予防を含む)	呼吸障害 無呼吸発作 チアノーゼ 消化器症状(嘔吐、腹部膨満、吐血、下血) 神経学的異常所見(けいれん、麻痺) 体温異常(発熱、低体温) 黄疸 頭血腫 帽状腱膜下出血 心雑音、不整脈 なんとなく元気がない<not doing well>	6	呼吸障害の症状と原因	I	18	NICU入室後の処置	III
						44	頭部腫瘍出現時の対応	II
29.治療を必要とする新生児と家族への支援	※ 各小項目の共通の中項目 A. 適応、準備と方法 B. 助産ケア	呼吸補助療法(酸素療法、人工呼吸療法) 光線療法 経管栄養 輸液管理 新生児蘇生法 低体温療法						
30.疾患がある新生児と家族への支援	※ 各小項目の共通の中項目 A. 病態、診断、治療 B. 助産ケア	新生児低血糖症 新生児一過性多呼吸<TTN> 胎便吸引症候群<MAS> 気胸、縦隔気腫 高ビリルビン血症 新生児ビタミンK欠乏症 新生児皮膚疾患(中毒疹、おむつ皮膚炎) 新生児眼疾患(鼻涙管狭窄) 外表奇形	27	診断された児の母親への説明	III			

大項目	中項目		午前問題			午後問題		
			番号	出題テーマ	タキソノミー	番号	出題テーマ	タキソノミー
		分娩外傷(鎖骨骨折、上腕神経叢麻痺)						
		感染症						
		新生児仮死						
		新生児の痛み						
		多血症、貧血						
31.母体疾患・生活習慣に起因する新生児の問題への支援	※各小項目の共通の中項目 A.病態、診断、治療 B.助産ケア	母子感染のリスクのある感染症 自己免疫疾患 甲状腺疾患 糖尿病 精神・神経疾患 喫煙・飲酒				48	HCV抗体陽性の母子感染予防法	II
目標Ⅺ. 乳幼児の正常発達・発育経過を判断し、それらを促進する支援について基本的な理解を問う。								
32.正常な経過にある乳幼児への支援	A.乳幼児の助産診断	身体所見、発育の評価						
		発達診断学的診察						
		視覚検査						
	B.乳幼児の発達を促進する支援	栄養						
		遊び						
	C.乳幼児の社会性を促進する支援	生活習慣・生活リズムの確立						
		情緒の発達						
		家庭環境との関連						
	D.乳幼児に起こりやすい事故の予防と対策	自立を促す支援						
		人間関係の形成						
E.乳幼児の疾病予防への支援	窒息(誤嚥、添い寝中の圧迫を含む)				19	安全な就寝環境	I'	
	溺水							
	誤飲							
	F.乳幼児の転落	交通事故						
		転落	18	乳幼児の事故	I			
	G.乳幼児の疾病予防への支援	予防接種				1	予防接種開始時期	I
		歯・口腔の衛生	14	生後4ヶ月児の歯のケア	I'			
目標ⅫⅢ. 乳幼児に起こる主な疾患及び支援について基本的な理解を問う。								
33.乳幼児に生じる問題と支援	A.乳幼児によくみられる感染症の病態・診断・治療と支援	突発性発疹						
		百日咳、水痘、流行性耳下腺炎						
		RSウイルス感染症(細気管支炎)	37	RSウイルス感染症の特徴	I			
		カンジダ症、驚口瘡						
		ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群<SSSS>						
	B.乳幼児の発達上の問題	乳幼児下痢症(ロタウイルス、ノロウイルス)						
		肺炎						
		尿路感染症						
		染色体異常(21トリソミー)						
		脳性麻痺						
C.乳幼児突然死症候群<SIDS>	発達障害(自閉症スペクトラム障害、注意欠如・多動性障害)							
	被虐待児症候群							
D.虐待	リスク因子							
	予防法と指導							
		心理的虐待						
		身体的虐待(揺さぶられっこ症候群)						
目標ⅫⅣ. 低出生体重児・早産児の特徴や疾患及び支援について基本的な理解を問う。								
34.低出生体重児・早産児の特徴と疾患	A.低出生体重児・早産児の分類	出生体重による分類						
		在胎週数による分類						
		在胎週数と出生体重による分類						
	B.低出生体重児・早産児の特徴	外観						
		循環器系						
		血液						
		免疫系						
		呼吸器系	38	出生後24時間以内の生理学的特徴	I			
		消化器系、代謝系						
		泌尿器系						
C.低出生体重児・早産児の疾患の病態・診断	ビリルビン代謝							
	体温調節							
	呼吸窮迫症候群<RDS>	28	治療中の急変の原因	II				
	無呼吸発作							
	未熟児動脈管閉存症							
	未熟児網膜症				20	発症のリスク因子	I	
	脳室内出血							
	脳室周囲白質軟化症							
	核黄疸							
	壊死性腸炎							
D.低出生体重児・早産児の予後・経過	敗血症、髄膜炎							
	未熟児貧血							
	未熟児骨減少症<未熟児くる病>							
	低血糖症							
	低カルシウム血症							
	低体温症							
	死亡率							
35.低出生体重児・早産児	A.異常の早期発見、予防・治療のための支援	成長・発達						
		後遺症						
		体温管理と保育器管理						
		呼吸管理						
		皮膚のケア						
		水分・電解質・血糖管理						
		栄養管理と授乳						

大項目	中項目		午前問題			午後問題		
			番号	出題テーマ	タキソノミー	番号	出題テーマ	タキソノミー
への支援		感染予防						
	B.発達のための支援(ディベロップメンタルケア)	ディベロップメンタルケアの目的と対象						
		ディベロップメンタルケアの内容(ポジショニング、ハンドリング、早期母子接触、タッチケア)	39	初回面会時の母親への説明	II			
		家族への支援(哺乳支援、ファミリーケア)						
【地域母子保健】								
目標Ⅰ. 母子保健の動向について基本的な理解を問う。								
1.地域母子保健の基本	A.母子保健の概念	母子保健の変遷						
		地域の特性と母子保健						
		地域母子保健の意義						
		ヘルスプロモーション						
	B.母子の健康に関わる因子	社会環境、生活環境、住環境						
		生活行動、生活様式						
		家族、地域						
2.母子保健の動向と課題	A.統計にみる母子保健の動向	出生						
		合計特殊出生率						
		妊産婦死亡、後発妊産婦死亡						
		自然流産、人工流産、死産						
		周産期死亡						
		新生児死亡						
			乳児死亡、幼児死亡					
			女性の就業率					
			人工妊娠中絶					
	B.母子保健に関する課題	少子化						
		育児支援の必要性						
		経済格差、医療の地域格差						
			不妊・不育の支援					
			家族形態の多様化					
	C.国際母子保健に関する課題	国籍・宗教・文化を考慮した母子支援						
妊産婦死亡・乳児死亡の国際比較								
持続可能な開発目標(SDGs)								
目標Ⅱ. 母子保健活動及び助産業務を行う上で必要な母子保健行政と母子保健制度・施策について基本的な理解を問う。								
3.母子保健行政の体系	A.母子保健行政の仕組み	母子保健行政の動向						
		母子保健行政における国・都道府県・市町村の役割						
		母子保健行政の財源						
	B.母子保健に関わる法律	母子保健法						
		成育過程にある者及びその保護者並びに妊産婦に対し必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策の総合的な推進に関する法律<成育基本法>						
		地域保健法						
		児童虐待の防止等に関する法律						
		育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律<育児・介護休業法>						
		雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律<男女雇用機会均等法>						
			母子及び父子並びに寡婦福祉法					
	C.母子保健に関わる制度	健康診査						
		保健指導						
		療養支援						
			医療対策					
			母子健康手帳			28	交付の要件	I
		予防接種						
D.主な母子保健施策	健やか親子21(第2次)							
	次世代育成支援対策							
	少子化対策							
	妊産婦のための食生活指針							
	妊娠高血圧症候群等療養支援				52	医療費一部助成の制度	II	
	母子感染予防(B型肝炎ウイルス、成人T細胞白血病ウイルス-1型<HTLV-1>)							
		妊娠期から子育て期にわたる包括支援(産前・産後サポート、産婦健康診査、産後ケア事業)						
		特定不妊治療費助成事業						
		母子自立支援、貧困対策、ひとり親家庭等日常生活支援事業			21	低所得者ひとり親世帯の経済支援の目的	I	
目標Ⅲ. 助産師が行う地域母子保健活動の実際について基本的な理解を問う。								
4.地域母子保健活動の実際	A.地域の様々な場における助産師の役割	助産所						
		診療所・病院						
		周産期医療センター						
		市町村保健センター						
		保健所						
			子育て世代包括支援センター<母子健康包括支援センター>					
	B.地域における助産師の活動と留意点	プレコンセプションケア						
		性教育						
		予期せぬ妊娠をした女性へのケア						
		出産準備教育						
		妊産婦の訪問						
		産前・産後サポート、産後ケア事業				24	産後ケア事業の概要	I
		育児支援(電話相談、ベビーマッサージ)						
		新生児訪問指導						
			メンタルヘルスケア					
		児童虐待予防						
C.母子保健活		多職種連携と調整			53	市への要支援児童疑いの情報提供	III	

大項目	中項目		午前問題			午後問題		
			番号	出題テーマ	タキソノミー	番号	出題テーマ	タキソノミー
	母子保健活動における連携・協働	地域包括ケアシステム ソーシャル・キャピタル 民間組織・自助グループ<セルフヘルプグループ>との連携						
【助産管理】								
目標Ⅰ. 助産管理の基本、助産業務管理、助産所の管理・運営、周産期医療とその安全について基本的な理解を問う。								
1.助産管理の基本と助産業務管理	A.助産管理の基本	助産業務管理の特性						
		組織における助産師の役割と助産管理体制						
		助産の質の管理と保証						
		管理目標の設定						
	B.助産業務管理の過程	業務の分析						
		業務計画の策定						
		業務の評価						
	C.助産業務管理の実際	人事・物品・経済・情報・時間の管理						
		継続教育						
		文書・記録の管理と開示						
		診療情報提供						
		他部門・他機関との連携、協調						
	D.場に応じた助産業務管理の特徴	地域との連携						
業務の質の管理								
周産期棟、混合病棟の管理								
外来の管理								
E.助産業務管理と医療経済	院内助産・助産外来の管理							
	助産所の管理							
	医療保険制度							
		診療報酬	30	乳腺炎重症化予防ケア・指導料	I			
		分娩費用、健康診査に係る費用				51	妊婦健康診査助成制度	II
		出産育児一時金						
2.助産師及び助産師の業務に関する法と責任	A.助産師の業務に関わる関係法規	保健師助産師看護師法						
		医療法						
		医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律<医薬品医療機器等法>(処方せん医薬品等取り扱い)						
		母子保健法	19	令和3年の改正内容	I			
		母体保護法	21	母体保護法に基づく不妊手術の種類	I			
		児童福祉法						
		地域保健法						
	B.助産師の法的義務・届出に関わる関係法規	成人保護法						
		戸籍法(出生届、婚姻届)	20	非嫡出子の出生届	I			
			51	出生後死亡児の書類交付	I'			
		刑法(秘密漏示の禁止、墮胎の禁止、虚偽私文書作成の禁止)						
	C.女性の支援に関わる関係法規	保健師助産師看護師法(応招義務、出生証明書、死産証書、死胎検案書、異常死産児の届出、助産録の記載と保存)	52	双胎分娩時の助産録の記載事項	I'	35	異常死産児の届出義務	I
		配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律<DV防止法>						
		育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律<育児・介護休業法>						
		性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律						
		母子及び父子並びに寡婦福祉法						
		健康保険法、国民健康保険法(出産育児一時金の支給)	50	出産育児一時金の直接支払制度	I'			
		労働基準法						
	D.子どもの支援に関わる関係法規	雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律<男女雇用機会均等法>	29	マタニティハラスメント防止措置	I'			
		男女共同参画社会基本法						
		生活保護法(出産扶助)						
		児童虐待の防止等に関する法律						
	3.助産所の管理・運営	A.関係法規に基づく管理	少子化社会対策基本法					
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律<障害者総合支援法>								
医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律<医療的ケア児支援法>								
助産所の定義								
助産所の開設者と管理者								
助産所の管理者の義務					23	嘱託医師を定める義務	I'	
助産所の構造と設備								
助産所の広告								
B.助産所の管理・運営		嘱託医および嘱託医療機関との連携・協働	22	妊婦の協働管理の条件	I			
		救急時の搬送と搬送基準						
	環境・設備・備品の整備							
	地域医療、行政との連携・協働							
	助産所での分娩の適応基準							
	自宅分娩の適応と可否の判断							
4.周産期医療における連携・協働	A.チーム医療における連携	周産期医療体制						
		周産期医療におけるチーム医療、多職種連携・協働						
		地域との連携				25	総合周産期母子医療センターと地域の医療施設との連携	I
		オープンシステム、セミオープンシステム						
		リスクマネジメント						

大項目	中項目		午前問題			午後問題		
			番号	出題テーマ	タキソミー	番号	出題テーマ	タキソミー
5.助産師が行う医療安全と危機管理	A.安全対策	感染予防・管理、院内感染、薬剤耐性<AMR>						
		傷害等の対応と損害賠償保険						
		産科医療補償制度						
	B.医療事故防止対策	医療事故防止対策						
		医療事故の原因						
		救急体制						
		法的責務						
	C.災害への備え、災害対策・支援活動	訓練						
		物品の備え						
		妊産婦・母子・女性への災害に対する教育						
		発災時の初期対応	40	地震発生時の看護管理者の初期対応	III			
		被災した妊産婦・母子・女性の特徴と支援						